

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| | 視点 | 4年間の目標 (令和 年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) | |
|---|---------------------|--|---|---|---|------|----------|---------------------|---------------|-------|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | ①生徒の基礎学力を充実・定着させ、学科併置の特色をいかし、磨き合う学習活動の工夫・改善に取り組む。 ②国際化、6次産業化を視野に入れた教育課程の充実を図る。 | ①ICTを活用した組織的な授業改善を進め、学習評価の改善につなげる。 ②カリキュラムの修正・見直しを進め、農業科・商業科の充実した教育課程を模索する。 | ①ロイロノート等を活用した授業計画を作成し、学習活動の充実・改善に向けた相互授業計画や研究授業・研究協議を充実させる。 ②カリキュラムの見直し等の検討を進める。 | ①ロイロノート等の研修会を年3回以上実施できたか。 生徒による授業評価で授業のあり方や学習状況について改善が見られたか。 ②各教科における具体的なカリキュラムの検討が進められたか。 | | | | | |
| 2 | (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | ①生徒が安全・安心に学校生活を送るための指導を充実させ、生徒自らが主体的に行動し、新たな社会的課題に対応できる人材の育成を図る。 ②責任感や連帯感の醸成と達成感が得られるよう生徒主体の活動を充実させる。 | ①生徒一人ひとりの悩みや不安について、SCやSSWなどの専門家と積極的に情報共有し、より一層、安全で安心して学校生活を送れる環境を構築する。 ②生徒が自主的・積極的に活動できるような指導体制を構築する。 ②農商メディアセンターを授業において、調査・探究で活用しやすい施設となるよう整備していく。 | ①教員による生徒の観察の他、かながわサポートドックのアンケートにより、早期にSCやSSWと生徒を繋げ、生徒の不安や悩みの解決に結び付ける。 ②生徒が活動しやすい環境整備と職員の意識改革を図る。 ②農商メディアセンターを利用者が使いやすいようにサイト集としてまとめる。 | ①生徒の悩みや不安に対して、職員が適切に対応することができていたか。 ①カウンセリングの必要な生徒とSC及びSSWとの面談をスムーズに行うことができ、不安の解消につなげることができたか。 ②各種行事運営等で生徒が連携して積極的に活動することができたか。 ②利用冊数、来館者数、利用する科目数を前年度以上とすることができたか。 | | | | | |
| 3 | 進路指導・支援 | ①社会の動向に柔軟に対応できる産業人として、産業構造の変化や社会のニーズ等に対応した人物育成を推進する。 ②キャリア教育の充実を図り、高い専門性を持つスペシャリストを育成する。 | ①生徒が地域や社会の一員としての自覚を持ち、専門性を持つ産業人としてより良い社会の実現に貢献していこうとする意欲と態度を育む。 ②生徒が見通しを持って主体的に進路活動に取り組めるよう、進路支援体制の充実を図る。 | ①高校での学びや経験をとおして、生徒が社会人として必要な能力を自ら伸ばそうとする意欲を育むため、キャリア・パスポートの活用を推進する。 ②進路相談体制の拡充を進めるとともに、教職員の進路指導に関する知識・スキルの向上を図るため、校内研修を実施する。 | ①各学年の特性や学習活動の状況等に応じ、キャリア・パスポートを効果的に活用することができたか。 ①生徒に社会人として必要とされる基礎的なビジネスマナーが身に付いているか。 ②進路相談体制の拡充が図られたか。 ②実践的なキャリア教育研修を実施することができたか。 | | | | | |

| | 視点 | 4年間の目標 (令和 年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) | |
|---|--------------|---|--|--|--|------|----------|---------------------|---------------|-------|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 4 | 地域等との協働 | ①農業科や商業科の専門教育活動について積極的に地域に広報し、PRするとともに、魅力ある学校づくりを推進する。 ②農業科、商業科それぞれの高い専門性の知識と技術をいかしつつ、社会に貢献することができる生徒を育成する。 | ①農業科・商業科における専門的学びの魅力を広く発信し、専門教育の魅力をPRしていく。 ②地域の特性をいかした地域協働や産学連携等に積極的に参加し、地域への貢献をととして生徒の育成に繋げる。 | ①学校PRの手法の検討と見直しを行い、内容の充実を図り、本校の魅力を効果的に伝えていく。 ②地域の幼小中学校や地域団体との連携（見学・体験学習・企画参加等）を深め、地域から求められる学校を目指す。 | ①学校説明会の依頼実績、学校説明会・体験入学等の参加率やアンケート集計内容等の実績を検証することができたか。 ②地域からの依頼実績や地域が求める協働の機会拡大に努められたか。 | | | | | |
| 5 | 学校管理 学校運営 | ①信頼と期待に応える学校づくりを推進するため、事故・不祥事防止を徹底し、教職員の意識醸成や校内環境及び組織体制の整備をする。 ②安心して快適な教育環境の整備のため、生徒と向き合う時間を確保するための教員の働き方改革の実現と、組織的・計画的な学校安全管理を推進する。 | ①定期的な不祥事防止研修会を実施し、教職員の危機管理意識を高める。 ②ICTを活用した校務の効率化と勤務時間を意識した業務や会議内容を精選する。 ②災害特性を踏まえた避難訓練及び危機管理マニュアルに基づいたチェック体制を着実に実施する。 | ①不祥事防止研修会等を計画的に実施し、情報共有する。また、報告・連絡・相談を円滑に行い、不祥事防止に努める。 ②職員一人ひとりが勤務時間を意識するとともに、校務の効率化を図る。 ②生徒・職員対象のDIG研修や計画的な防災避難訓練を実施する。 | ①事故・不祥事件数ゼロを達成したか。 ②勤務時間後の退勤を促すとともに、自己研鑽や教材研究に向けた時間を確保することができたか。 ②生徒・職員対象の災害特性を踏まえたDIG研修や計画的な防災避難訓練の実施により、防災意識を高めることができたか。 | | | | | |